

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和8年4月22日（水）、次のとおり定例会議を開催した。

1 審議・報告内容

(1)

(2) 5月中の行事予定

高橋警務課長から、5月中の行事予定について報告を受けた。

(3) 3月中の苦情受理・措置状況

高橋監察官室長から、2月中の苦情受理・措置状況について報告を受けた。

(4) ハラスメント防止週間の実施

高橋監察官室長から、ハラスメント防止週間の実施について報告を受けた。

岡崎委員から「ハラスメント対策は、自分の言動を客観視する訓練を繰り返すことと、ハラスメント相談窓口などを周知することによって第三者性がある人、ある場所につなげていけるような仕組みをつくるのが大切である。」旨の発言があった。

中田委員から「ハラスメントは強い者が弱い者に対して行うものなので、幹部を新たに任命する際、上級幹部から風通しの良い職場づくりを行うように指示をして、自覚を促すことも大切である。」旨の発言があった。

(5) 刑事関係主要事件発生・検挙状況

三上捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況について報告を受けた。

中田委員から「こうした犯罪は広域化しており、日本国内のみならず、外国で活動している者も含めて被疑者同士がどこかでつながっている可能性もあると思われるので、内外の犯罪組織の壊滅に向け、引き続き精力的に活動願いたい。」旨の発言があった。

(6) 春の全国交通安全運動の実施結果

佐藤交通課長から、春の全国交通安全運動の実施結果について報告を受けた。

岡崎委員から「自転車の乗り方について、学生に対する指導と併せて高齢者への指導も実施願いたい。」旨の発言があった。

中田委員から「指導の成果として、ルールを守って自転車に乗っている学生が増えてきていると感じる。しかし時間の経過とともに指導された内容を忘れてしまうことが考えられるので、継続的に指導願いたい。」旨の発言があった。

(7) 三陸沖地震に伴う津波注意報等への対応

嵯峨警備課長から、三陸沖地震に伴う津波注意報等への対応について報告を受けた。

岡崎委員から「災害が発生すると住民は不安になるが、ひとつの行政機関だけでは対応に限界がある。今後も他の関係機関との連携による対応を継続願いたい。」旨の発言があった。

中田委員から「災害発生時の避難誘導をスムーズに進めるため、他の機関と連携し、日本語を解しない方や、公共放送などをキャッチできない方に対しても、災害発生時の避難に関する情報をわかりやすく提示する工夫を検討願いたい。」旨の発言があった。

2 決裁・報告内容

(1) 函館市大町における交通死亡事故の事後対策について報告を受けた。

(2) 令和7年道警察重点目標に対する函館方面の結果について報告を受けた。

(3) 地域交通安全活動推進委員の欠員に伴う委嘱について報告を受け、決裁を行った。

(4) 警察署協議会委員の解嘱・委嘱について報告を受けた。

以 上